

多様化社会の中核的存在となる「インターメディエーター」。異なる世界の「あいだ」に立ち、さまざまな次元で異なる領域を媒介し、対話と協働をうながすモノやヒト。あらゆる「あいだ」から両側を活かし、新たな均衡、需要、未来を創り出す存在です。代官山ヒルサイドテラスにて、第2回フォーラムを開催します。

2018. 11. 17 [土]

Intermediator Forum 2018

●会場：代官山ヒルサイドテラス CLUB HILLSIDE SALON ●主催：設楽剛事務所 ●共催：(株)ダンクソフト、(株)コスモピア ●申込み：intermediator.jp

Welcome to IMF

- ビジネスを含め、およそ人間の共同社会は「関係の網の目」の中で成立しています。ですが、いま組織・社会・自然の網の目も、いたる所が切れ切れになっています。
- だからこそ、その「あいだ」に立って、破壊され、毀損され、失われたリンクの数かずを修復、再生、再創造するモノやヒトが必要です。こうした「あいだの知」を担う媒介役を「**インターメディアエーター (intermediator)**」といいます。誰かの 上か前 に立とうとする“強いリーダー”ばかりを探し求める人にとっては、じつに見えにくいタイプの人びとです。
- しかし新たな需要が生まれ、社会や歴史が動き出すプロセスには、異なる領域を媒介し、互いの違いを十分認めながら「対話と協働」を促進し、それまでにない変化を起こす人たちが躍動してきました。その意味で、明日の世界は、あいだを起点に生まれてきました。
- 当日は、キーノート、ケース、オープン・ダイアログを通じて、「インターメディアエーター」というこれからの役割をご案内し、お一人お一人のご活動にさらに弾みをつけるきっかけにさせていただけたら幸いです。それぞれの領域がかかえる手詰まりを超え、新たな展開をめざす方々にお越しいただきたいと思っています。

設楽 剛 (Tsuyoshi Shidara, Ph.D.)

設楽剛事務所 代表、慶應義塾大学 博士〔政策・メディア〕
慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員

Schedule

2018. 11. 17

13:00 開場

13:15 集合

13:40 - 14:20 Keynote Speech

インターメディアエーターによる世界制作
設楽 剛

14:45 - 15:25 Session 1

「女性が語る右脳型思考と社会的知性」

┃ケース1 田子 みどり

ポリフォナイザー 設楽 剛

15:25 - 16:05 Session 2

「福祉イノベーションと人間の再定義」

┃ケース2 北川 雄史

ポリフォナイザー 設楽 剛

16:15 - 16:55 Session 3

「響き合う物語と人間回復」

┃ケース3 鈴木 悠平

ポリフォナイザー 設楽 剛

16:55 - 18:00 Dialogue & Polyphony

参加者相互、またスピーカーを交えた

オープン・ダイアログとまとめ (多声的に)

18:20 - 19:50 Symposion (対話と懇親の場)

Intermediators (Speakers of the Day)

田子 みどり (たご みどり)

株式会社コスモピア 代表取締役。東京ニュービジネス協議会 特別理事。同協議会 副会長、経済産業省、文部科学省、国土交通省、東京都などの審議会委員、公立小学校 PTA 会長ほかを歴任。「女性たちのエンパワリング」をテーマに、女性創業、女性活躍、地域活性化 (萩ふるさと大使) 等も推進。

北川 雄史 (きたがわ ゆうじ)

社会福祉法人いぶき福祉会 専務理事。大日本印刷 (株) から現法人へ入職。従来の福祉の枠にとどまらない、地域のモノとコンテクストを創り出す一方、医療・教育機関と連携し、最重度の障害のある人やいのちの問題に向き合う。『ねことmaruとコトコト:障害のある人の「働く」をつくる』(共著)

鈴木 悠平 (すずき ゆうへい)

LITALICO 発達ナビ・LITALICO 仕事ナビ 編集長。NPO 法人 soar 理事。文筆家。事業と執筆・編集を通じ、一人ひとりが〈わたし〉の物語を紡いでいくなかで回復していくプロセス、〈わたし〉と〈あなた〉の物語が響き合うなかで、新たな希望が見出されるプロセスの探求、伴走、創出をこころみている。

設楽 剛 (しだら つよし)

設楽剛事務所 代表、慶應義塾大学 博士〔政策・メディア〕、慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員。革新型経営者のアドバイザー。対話的に世界構想を描くナラティブ・アプローチを重視。新たなビジネス・パラダイムの導入・形成に取り組む。

Intermediator Forum 2018